



病児保育だより



病児保育室 やまさきこどもクリニック
Teddy's Yamasaki Kodomo Clinic

2026年 8月

暑い日が続いています。夏は感染症や熱中症など気をつけるべきものは色々ありますが、今回は流行が懸念されている「はしか＝麻疹」についてのお話です。このお知らせを制作時点(7月中旬)、県内で有意な流行はありません、。しかし流行ると大変なので、少し覚えておいていただきたいことや、疑うべき症状・病態、対処法 などを紹介します。



「はしか＝麻疹」ってなあに？

「はしか＝麻疹」とは、麻疹ウイルスによるウイルス感染症です。昨年より国内の感染流行が懸念されていました（日本の各地で流行はみられました）。

麻疹は感染力がトップクラスに高く「同じ空間にいただけ」で感染してしまう恐れがあります！免疫のない人が麻疹感染者と接触した場合ほぼ100%感染してしまいます！感染力は、インフルエンザの数倍です！



1978年にワクチン接種が開始され、日本からは排除された感染症で今回の流行も海外からの持ち込みと言われています。現在60歳以下の医師のほとんどは麻疹患者を診療したことがないのです。右の写真は「麻疹」の皮膚所見です。

症状・診断・治療法・予防法は？

症状は、①発熱(咳鼻など風邪症状伴う。一度下がりました上がる)と、②発疹(二度目の発熱時)です。麻疹感染は、そのまま病院を受診するとほかの人うつす恐れがあるため、感染者と接触がある場合(疑いも)は事前に病院や保健所への連絡が必要です。

根本的な治療はなく、症状に対するお薬になります。「ウイルス」なので肺炎を起こしたりしなければ「抗菌薬」は不要です。

予防はワクチン接種が重要です。1歳と就学前の2回の定期接種です。ちゃんと済ませていますか？

重症化・合併症は？

合併症としては、「肺炎」や「脳炎」があり重症化してしまうと亡くなることもあります。

いつから登園・登校していいの??

「発疹を伴う発熱の解熱後3日を経過するまで」となります。医師の判断でOKをもらってからとなります。診療してもらった医師の指示に従ってください。



【ここ数ヶ月間に当院病児保育をご利用された方の病気】
「急性胃腸炎」「RSウイルス」「急性上気道炎」「手足口病」「溶連菌感染症」「アデノウイルス感染」「ヒトメタニューモウイルス感染」「ヘルパンギーナ」
などなど、



やまさきこどもクリニック
病児保育室 Teddy's
TEL: 0956-37-8813